（第三種郵便物認可）（大正八年三月七日）　昭和八年一月廿六日　THE IWAKIJIHO　（木曜日）（第五千六百八十號一）（一）

廿五日夕刊

岩城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四　編輯兼發行人　岡田弘一成
印刷所　福島縣石城郡平町紺屋町十四　印刷所加納活版所
發行所　福島縣石城郡平町紺屋町十四　磐城時報社
廣告料一行十四字詰金五拾錢　一部金武錢　一ヶ月金參拾錢
▲日刊（日曜祭日）休刊

銀行ギャングを眞似た 二名の不良少年

各々ピストルを盜んで所持 平署舊歲末警戒の捕物

平町八幡小路三十一番地千代長男明地利男（十六）胡麻澤一〇四梅吉四男赤津四郎（十九）の兩名はピストルを各一挺宛所持し平町を徘徊してゐるので平署員が平署に連行取調べた處、過般東京市に於ける銀行ギャングを眞似るため平町一丁目平銃砲火藥店から六連發、二連發の各一挺宛を所持してゐたもので、更に共犯者がある見込みで捜索中である尙ほ右二名を取調べた處同人等は昨年十月中平商業學校教員室からタイプライター價格四百圓を窃取して破壞した上縣社子鍬倉神社境內に遺棄したのを始め平町各小學校から時計、靴、萬年筆、現金等を窃取してゐた事の狀態である。

平町豫算 前年より增額か

平町では目下昭和八年度の豫算を編成中であるが、極度の財政難から各方面總て大緊縮の方針をとつてゐるけれど然も昨年度總額三十一萬七百二十九圓より幾分增加の見込みである。

▲辯護士悲鳴

平區裁判所における債務調停實施後には取扱ひ件數は二十四日までに約百件に上つてゐるが、これがため辯護士は金箱である債務關係事件が全部調停法に奪はれ辯護士、三百連は悲鳴を上げる狀態である。

水道料金徵收に 平町當局手を焼く

豫算より減收二萬圓を突破せん

平町では納稅その他の收入が激減し小學校教員の支拂ひにまで窮してゐる現狀であるか、殊に成績を見ると九ヶ月間の料金賦未納の甚だしいのは水道料で平課額四萬四千八百六圓十六錢に對し納入額三萬四千九百十二圓水道部の目下の事業は大部分料金徵收に盡きてゐる有樣である昨年四月から十二月までの納入

議長問題

運動表面化す

平町では市制施行を目前に控へ開始したものあり、漸く粉糾を豫想さるゝに至つた。議長に對しては年長の關係から結局井上氏に落つくらしいが、副議長に對しては別に民政黨の立場から縣議萩原義雄氏を支持するものがあり漸次運動を表面化せしめてゐるので實現性の如何は兎も角相當曲折あるは當然の結果であるが、この仲間喧嘩に乘じ政友會側では議長副議長の全獲を企て暗躍をなし既に關內正一町議の出馬を慫慂してゐると傳へられ、現に二十三日夜某旅亭に會合したるはその前提ともいはれてゐるので頗るテリケートな動向として成行きを注視されてゐる。尙野崎派の參謀馬目雅治町議も漁夫の利を占めんとして極めて巧妙に泳いでゐる模樣があり協合によつては可なり思ひ切つた事態が現出するも知れず弦暫らくは非常に興味あるところである。

大町通りの道路を 鎌田町まで延長

附近代表者が陳情 工費一萬圓敷地は寄附

平町新川町代表松崎長三郎、長市本町勝太郎長男鈴木米太郎（二二）で六年前佐藤とき當時二十三才の美貌に魅せられ父親の金を捌帶して水戸市上市黒羽町に愛の巢を營んでゐたが數ヶ月前より米太郎が病床に就くと前記ときはさる十日夜何れへか逃げてしまつたので途方に暮て故郷戀しさに福島へ行くべく水戸市から同日平町まで徒歩で來たものと判明したので役場員が醵金して旅費を與へて歸郷せしめた。

▲旅費給與願

二十三日平町役場に出頭して福島まで旅費を惠んで下さいと申し水道部の目下の事業は大部分料對し納入額三萬四千九百十二圓出た若者があつたが、右は福島

鮫川疏水の工事 ブローカーを排撃せよ

地元直營が妥當 前縣議古川傳一氏談

石城郡鮫川疏水の復舊工事組合ある。然し縣は請負師の手に渡す意思はないらしく組合も絶對直營に關し前縣議古川傳一氏等受けてゐるが、同人は伊達郡川又町渡邊自動車店からガソリン代に窮したと稱し金五圓を詐取して本月二十日平町に入込み二十三日南町馬目自轉車店から同樣手段で金五十圓を詐取逃走せんとする處を逮捕されたもので豫てから中村警察署で手配中の詐欺常習犯である。

▲詐欺運轉手

相馬郡中村町字新町三〇生れ自動車運轉手松村房吉（二八）は二十四日午前五時平署員に逮捕され取調を受けてゐるが、同人は伊達郡川又町渡邊自動車店からガソリン代に窮したと稱し金五圓を詐取して本月二十日平町に入込み二十三日南町馬目自轉車店から同樣手段で金五十圓を詐取逃走せんとする處を逮捕されたもので豫てから中村警察署で手配中の詐欺常習犯である。

赤井村の産業道路 三萬圓で新設に決定

陳情奏効して大喜び

赤井村西小川から永戸村下永井に通ずる林道は地方産業開發のため必要なものとして新設方を今において全國的の供給過多地元から縣に陳情中であつたが此程縣土木課日出技師實査の結果工費三萬圓二ヶ年間繼續事業の卸相場は實當り一圓七十錢位で、小賣相場は一個三錢乃至二錢五厘といふ好況時代と比して約半額の安値であるが、各養鷄家が更に大打撃を蒙つてゐるもの判明したので役場員が醵金して旅費を與へて歸郷せしめ延長三里半である。

▲鷄卵暴落

平町及び植田、勿來町地方の養鷄事業は數年前の活況に因をなして一般鷄肉の低落等により目下春期產卵を前にして各養鷄家共不採算のありさまである。

▲平館

大晦日から四日迄
△松竹超特作德富芦花原作林長二郎、川崎弘子主演「不如歸」△大河內傳次郎、伏見直江、花井蘭子主演「三萬兩五十三次」△林長二郎、千早晶子主演「旅草鞋故郷吹」
▲世界館　舊元日より一週間
△新興時代劇市川國太郎主演「吉良の江吉」△現代劇岡田時彥、高田稔。佐久間妙子主演「天國の波止場」△時代劇坂東妻三郎、鈴木澄子主演「神變靡香猫」

常設館便り

けふは陰暦の大晦日、平町地方ではげふが年二回盆暮の清算期なので各商店は勿論一般家庭も多忙を極める事であらう。明日は朗かなお正月だ、御婦人、お子供衆の期待してゐた大衆娯樂映畫界も春はスクリーンの光からと大躍進。平町の平、世界兩映畫常設館では左の如く東北封切特別興行で歡客吸收に大わらはでゐる。

社告

明二十六日は舊正月元旦に付工場員慰安のため臨時休刊可仕候間御諒承願上候

磐城時報社

かまぼこ
折詰仕出し
御惣菜用さつま揚、吉原揚

平町二丁目
藤市蒲鉾店
電話三〇五番

平看護婦會
會長　清野キヨ
平町字南町【電話三〇七番】
看護婦派出の需めに應じます

消費節約
品質本位　家庭染料
みやこ染
平町一丁目
特約店　大平や藥店
電四六二番

皇漢藥合成品
喘息五靈湯　頑固性慢性ニョシ
五日分一圓
喘息、氣管喘息、神經喘息、痰咳、氣管支カタル等の慢性頑固性に卓効を有す。他藥にて全治困難の人々に一度の御試用を勵む。
山野邊藥局

御大賣出し
平素の御引立に酬ゆる爲め奉仕品を豊富に取揃へ年一回の御禮大提供
舊正月二日・三日の二日間
ふかや洋服店

三河産業博覽會
昭和産業博覽會　金牌受賞
儀式用
かまぼこ製造
折詰圓

平町一丁目
お惣菜用
さつま揚
吉原揚
天藤寅
電話一四一番

乘合は好間・合戸・澤渡方面行
貸切ノ御用命ハ
ゼヒ三井自動車部へ
電話六八五番

平町田町（電話五一三番）
高久病院
醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽清
藥劑士　佐竹菊雄
内科小兒科　外科花柳病科
耳鼻咽喉科　レントゲン科

融通低利　信用安心
湯本信用無盡會社
大藏大臣免許
電話四七番

舊正月初賣二日三日景品付大賣出し
二日市朝の八時までは特別二重景品を差上げます
初賣當日は混雜ですから商品券の御利用を御願します

特價品の一部
オーバー	五圓ヨリ	五圓以上並毛布一枚
トンビ	六圓ヨリ	拾圓以上毛布二枚續キ一枚
コート	四圓五十錢ヨリ	貳拾圓以上黒モヂリ外套又一枚
子供オーバー	二圓二十錢ヨリ	上等毛布二枚續
ラシヤ服（一年生用）	二圓八十錢	參拾圓以上黒モヂリ外套又一
黒メルトンコート	七圓五十錢	上等毛布二枚續
防水マント（最上）	四圓三十錢	五拾圓以上洋朱子裏トンビ
◎トンビ・マント・モヂリ・オーバー大特賣		百圓以上絹朱裏子トンビ一枚

景品
漏れなく進呈

一時開店
正札堂洋服店
電話四三六番

景品山の如し
吉例初賣出し
呉服店
平町三　電話六十七番

商品豊富
景品の山
初買は三井呉服店から
午前一時より開店

10日
機械新設
檢査お宅の体温計は？
◎正確な体温計を御使用下さい
◎毎月十日の檢査日御利用下さい
体溫計の檢査日です
度量衡指定販賣人
計量器
西村屋藥局
電三番